

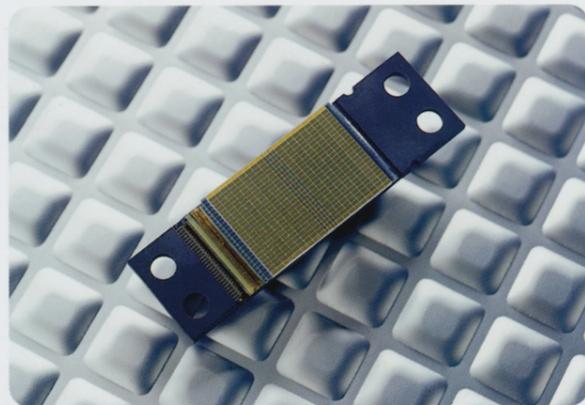
スーパーナロウウォールな、 高感度 New Ceramic SSMD

隔壁厚を大幅に薄型化した新型検出器 New Ceramic SSMD や
ショートアフタグローなどにより、高速スキャン、低線量・低被ばく、高画質を実現しています。

検出器に、高感度 New Ceramic SSMD を搭載

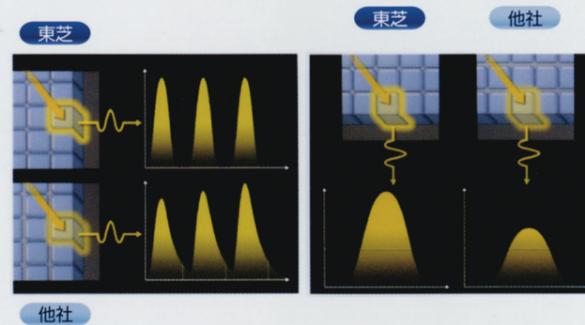
■ 極薄隔壁の、スーパーナロウウォール

長年にわたる検出器技術の蓄積により、隔壁の大幅な薄型化に成功。薄さを極めたスーパーナロウウォール構造の、高感度 New Ceramic SSMD (Selectable Slice thickness Multirow Detector) を実現しました。照射 X 線をムダなく有効活用することで、低線量でも高画質が得られます。



■ 高出力 & ショートアフタグローを実現

検出器の特性として、出力を上げるとアフタグロー*が増加し、アフタグローを抑えると出力が低下してしまいます。Asteion Super 4 Edition は、この矛盾を克服。アフタグローが短く、キレのよいデータを短時間に数多く収集 (ビュー数) することが可能です。これにより、高速スキャン、低被ばく、高画質を実現しています。



■ 高い量子効率で低線量 & 低被ばくな撮影を実現

17,336 素子の Matrix 構造をもつ New Ceramic SSMD。発光力の高い素子とスーパーナロウウォールにより少量の X 線で高い量子効率を実現し、低線量かつ低被ばくでの撮影を可能にしています。

HeliCool
Tube
Technology

液体金属軸受けを採用した 4MHU X線管装置を採用

X線管装置に、東芝独自の液体金属軸受けを採用。液体金属軸受けなので熱伝導率が高く、極めて冷却効率 (864kHU/分) の高い X 線管装置を実現しています。ASO などの広範囲スキャンや、肝臓の 5 相撮影なども安心してこなせます。

